

第1回日中知事・省長フォーラム宣言

日中国交正常化40周年を記念し、日本国全国知事会並びに中国人民対外友好協会及び中日友好協会との共催による第1回日中知事・省長フォーラムが、東京で多くの関係者の参加のもとに開催された。

日本側からは山田啓二京都府知事をはじめ、上田清司埼玉県知事、泉田裕彦新潟県知事、阿部守一長野県知事、尾崎正直高知県知事、古川康佐賀県知事、藤井喜臣鳥取県副知事、小林淳一島根県副知事、海老井悦子福岡県副知事及び兵谷芳康熊本県副知事が、中国側からは張毅寧夏回族自治区書記、努爾・白克力(ヌル・ベクリ)新疆ウイグル自治区主席、李斌安徽省省長、竺延風吉林省副省長及び林念修広西チワン族自治区副主席が出席した。

このフォーラムにおいては、両国の地方政府首脳達が、いかに地域間の交流の強化、発展を図るかについて、友好的で活発な意見交換を行い、幅広い認識を共有するに至った。ここに、双方は、以下のとおり宣言を發表する。

1. 日中両国の各地域の発展を図るうえで、地方政府間の交流と協力は重要な役割を担っており、両国国民の相互理解と友好の増進にも大きく寄与している。今後も、経済、文化、教育、科学技術、体育、青少年などさまざまな分野において、両国の地域間交流は一層強化し、発展させていく必要がある。
2. 特に、日中両国地方政府間においては、観光、経済、文化、エネルギー、環境保全などの分野において、相互に協力できる部分があり、今回、私たちは、率直に意見を交わし、提言を行った。これらを踏まえ、今後、これらの分野における交流と協力を深化・強化し、より多くの実質的な成果をあげる

よう努力していくことで一致した。

3. 日中知事・省長フォーラムは、両国の知事・省長間交流の重要なプラットフォームであり、両国地方政府間の交流・協力を強化していくうえで大きな役割を果たしている。今後、このフォーラムの充実を図り、両国の地域間交流・協力を深化させ、ひいては両国民の友好の増進、安定した日中友好関係の推進にも資するよう努力していく。

日本国全国知事会

中国人民对外友好協会

中国日本友好協会

2012.4. 18 東京にて